

平成28年度各会計予算 に対する各会派等の

意見表(要旨)

自民党豊島区議団

公明党

日本共産党

民主ネット

刷新の会

無所属元気の会

平成28年度一般会計、3特別会計及び一般会計補正予算に賛成の立場で意見を述べる。

28年度予算は、区民ニーズに対応した210事業、66億円にもなる新規・拡充事業が盛り込まれ、持続発展都市づくりに向けた様々な施策を着実に展開する予算であると同時に、3年連続で財政調整基金を取り崩すことなく編成するなど財政健全化の成果が活かされた快挙とも言える予算と高く評価する。

款別の意見としては、総務費では、区民満足度の高い窓口サービスの実現、総合防災システムの有効活用に向けた万全な体制づくり等を、福祉費では、生活保護費の医療扶助の適正化に向けた強化、子育て世代へのきめ細やかな支援等を、都市整備費では、旧庁舎跡地活用事業の推進、池袋駅周辺の国際競争力の強化を、文化商工費では、東京オリ・パラに向けて、新たな担当組織を設け、気運の醸成を図り、総合的な取組を。教育費では、学校のトイレ改善による教育環境の向上、放課後対策や家庭教育の充実等を。歳入については、安定的な財政運営に資する税収の確保を強く望む。

平成28年度豊島区一般会計予算、同補正予算第1号並びに3特別会計予算の5議案に可決に賛成する立場から意見を述べる。款別の主な要望・意見は、総務費では、23区初となる駅前デパート内の期日前投票所設置を評価する。区の委託契約における労働関係法令遵守のため、公契約条例制定の検討を。福祉費では、待機児童対策として、20年度から今年度に約2千百名の拡大を評価。更に地域型保育事業所の卒園児の受け入れに、認可保育所との連携を。衛生費では、胃がん、肺がんの未受診者への個別勧奨と再勧奨(コール・リコール)制度を国が進めようとしており、遅れることなく実施を。環境清掃費では、担当課による会議体を持ち、食品ロス削減への取組の開始を。都市整備費では、高齢者の住まいに空き家を活用した入居支援の検討を。土木費では、ソメイヨシノ発祥地の本区として、行政主導のもと、民間団体や区民ボランティア組織作りなどでサクラの管理を。駐輪場には大型の自転車もとめることができるように。文化商工費では、起業支援施設(インキュベーションオフィス)の内容充実を。教育費では、いじめ問題を一人の教員、学校のみで抱えず関係機関すべてで対応するよう強く望む。

一般会計並びに3特別会計予算に反対する。

第一に区民の暮らしを直視し切実な要望に応えていない。特養ホームの区内増設計画もなく、待機児童対策も不十分。住宅修繕リフォーム資金助成を大幅減額し、家賃助成拡充や公営住宅増設もない。生活保護の法外援護復活もなく、教育費の私費負担の軽減等の貧困対策も不十分で、福祉最優先の予算ではない。

第二に大型開発優先で、区民不在のまちづくりになっている。区民の財産である旧庁舎跡地を76年間も大企業に貸付け、さらに新ホール整備等に158億円もの税金投入である。他にも総事業費を示さない東西デッキ等、大型開発には莫大な税金を投入する一方、身近な公園等の維持管理はおざなり。

第三に将来に財政悪化をもたらす予算になっている。老朽化する学校改築や公共施設改修、区民要望に応えた特養、保育園の増設に今後も予算が必要である。ところが賑わいの創出などと言って旧庁舎跡地に8つの劇場をつくる計画は、区民にとって長期にわたる負担増をもたらすことになる。

保険料を値上げする国民健康保険、高すぎる後期高齢者医療、必要な介護が受けられない介護保険も反対する。

平成28年度一般会計予算、3特別会計予算、一般会計補正予算(第1号)は、本区の現状に即した適切なものと判断し可決に賛成する。多様な区民需要に応え、施策の合理性・妥当性の検証を常に進めるよう要望する。

款別に述べると、総務費では女性にやさしいまちづくり施策の積極的展開を。かねてより要望してきた福祉費の訪問型病児保育助成事業の新規計上と衛生費のおたふく風邪予防接種全額助成を評価。都市整備費では木密地域不燃化10年プロジェクト事業における安心で安定した生活への対策のため都との連携強化を。土木費では公園・児童遊園の安全・清潔の維持のため、きめ細かい管理体制を。文化商工費では女性の起業へのさらなる支援を。教育費では不登校対策の一層の充実を。学校トイレ緊急改善推進事業の迅速な進捗を評価。公債費以降では各基金のあり方と需要に応じ、計画的積立と有効な運用を。歳入ではワンルームマンション税収入を住宅対策の財源に充当しては、国民健康保険事業会計では出産育児一時金のあり方等について国に進言を。介護保険事業会計では老老介護への積極的施策展開と成年後見制度の有効活用を。本予算の執行が区より良い未来へつながることを期待する。

平成28年度一般会計及び3特別会計並びに一般会計補正予算について、賛成の立場から意見を述べる。

款別にみると、議会費・総務費では、議員協議会や正副幹事長会についても議会中継を行う提案をすること。性犯罪等の人權問題を扱う担当部署の名称と組織のあり方を検討すること。また、危機管理監を中心として安全・安心なまちづくりの為に万全な体制を構築することを要望する。福祉費・衛生費では、生活保護受給者の頻回受診や医療費の不正請求を防ぐため早期の指導体制作りを望む。環境清掃費・都市整備費・土木費では、分煙の強化など、排除の論理ではなくバランスのとれた政策の遂行を。造幣局跡地の防災公園の管理運営を地元住民と相談しながら進めること。無電柱化の積極的な推進を要望する。文化商工費・教育費では、世界に豊島区をアピールするため、地図記号等を外国人にとって分かり易いものにする、多様な通訳の人材を育てること。全小中学校での小中一貫教育の実施は区内で実施する学校の状況をみながら慎重な検討を要望する。

3特別会計については、引き続き国に対して、国庫支出金の増額と地方負担分の軽減を訴えていくことを要望する。

今回の予算委員会では、直面する様々な課題に対して、豊島区だからこそ積極的に推し進めるべき施策、テーマについて質疑した。各款別で提言した施策を実行・実現するにあたっては「国際アート・カルチャー都市構想」推進及び郷土愛精神を育む意味でも積極的なマンガ・アニメ活用を初めとした特色ある教育活動が重要である。かねてより提言しており、この度実現した東武・西武百貨店への期日前投票所設置のほか、18歳選挙権や共通投票所の設置も含め、若い世代の政治参加はもちろん、様々な世代・背景の区民が地域コミュニティへ参加しやすくなるための工夫・配慮をしていく必要がある。2020年東京オリピック・パラリンピック開催受入環境の整備、旧庁舎跡地周辺整備が進むなかで、「国際アート・カルチャー都市構想」推進に当たっては、区民サービスの充実が、目に見える形でわかるようにする事で、区長の推し進める「にぎわいの創出」が、本当の意味での区民還元になるものであると考える。そうした視点で、施策のより一層の展開・実施を行う事が、今後の豊島区にとって最重要であり、そのような事業執行に当たって頂ける事を要望のうえ、一般会計予算及び3特別会計予算に賛成する。